

きめ細やかなバックアップ体制で 女性の活躍を推進

山形信用金庫



▲ハートフル委員会の模様



◀「子ども見守り隊」を編成し
犯罪防止の営業のバイクに
見回りステッカーを貼付



この人に
聞きました

主任調査役
佐藤 元俊さん

積極的に 女性の職域を拡大！

山形信用金庫では、以前より社員が働きやすい職場環境の整備を積極的に進めており、平成24年度には「ポジティブアクション推進企業」として「山形労働局長優良賞」を受賞、平成25年には山形いきいき子育て応援企業「実践（ゴールド）企業」として認定された。

金融業は業界全体の傾向として、女性社員の職域が限られているという課題があった。

そこで、正社員の3割を占める女性社員の活躍は、これからの発展に不可欠なものであるという考えのもと、従来女性の配置が少なかった渉外業務や融資業務に積極的に女性社員を配置した。

その結果、新たに渉外担当となった女性社員は、フリーローン商品のトップセールスを誇る社員へと成長した。彼女をロールモデルとし、後進を育成するため、彼女の話を他の社員に聞かせる機会も設けており、その結果、女性社員全体の意識が変わり、より積極的な意識が生まれた。

また、平成22年には、女性社員の意見を集約し商品企画開発等に反映させるため、理事長直轄の組織として、営業店の女性社員17名で構成される「ハートフル委員会」を発足させている。

女性社員の出産後育児休業 取得率100%を支える支援体制

同金庫では、出産後の女性の育児休業取得率は100%である。「みんな子育ての大変さ、大切さを知っていますので、安心して育児に取り組んでほしいと思っています。」と語る佐藤さんの笑顔には、充実した制度を支える「心」がしっかりと感じられる。

スムーズな職場復帰のためのフォローも手厚い。金融機関ならではの事情の一つにシステムの変更があるが、復帰の際に戸惑うことがないように、育児休業中の社員に対し、育児休業中に変更されたことなどを記載したハートフル委員会で作成する「ままとも通信」を3か月に1度送付している。併せて、人事担当責任者による面談も行い、託児所の申込時期な

どの情報提供、慣らし保育の必要性などのアドバイスを行うなど、復帰に向けたきめ細やかな支援体制を採っている。

社員に寄り添う個別面談の 実施により働きやすい職場を実現

年1回、人事担当役員がパート社員も含めた全社員との個別面談を行っている。仕事上の配置希望や職場での悩みはもちろん、結婚や出産の予定、そして男女を問わず直面する問題である介護の予定などについても聞き取りを行い、各自の希望する仕事内容、職場環境に十分に配慮することで、男女ともに働きやすい職場の実現に向けて取組みを進めている。

「やまがた子育て応援パスポート事業」については、パスポート提示のあるなしに関わらず、小さな子どもを連れた女性には積極的に声を掛けサービスを提供しており、大変好評である。

(平成25年取材)



山形信用金庫

住 所:山形市鉄砲町2-18-5
代表者:理事長 山口 盛雄
業 種:金融業・保険業
従業員:213名 (女性74名、男性139名)
<http://www.y-shinkin.co.jp/>

企業より一言

基本理念に「中小企業の健全な発展に寄与する」「豊かな国民生活の向上に努める」「地域社会の繁栄に奉仕する」を掲げ、「中小企業の支援・育成と地域住民の生活向上」「経営健全性の確保と金融サービスの向上」「地域密着型金融の一層の推進」「金融環境の変化に対応できる人材の育成」に取り組みます。

社員一丸となって ワーク・ライフ・バランスの実現へ 株式会社シグマ



▲社内報の編集は男性1名、女性4名で担当



この人に
聞きました

総務部顧問
笹木 洋一さん



◀米沢市「伝国の社」の維持管理を担当

社員が作る 社内報で意識の統一！

株式会社シグマは、経営理念に「質の高いサービスで顧客満足度を達成し従業員の幸福と地域社会への貢献を実現する」と謳っており、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け取り組む姿勢を、社内はもとより社外に向けて積極的に発信を行ってきた企業である。

「私は、我が社に勤務する従業員とその家族を幸せにしたい。この会社で働いて良かったと思ってもらえる職場を実現したいと思っています。私たちが生き活きとやりがいを持って仕事に臨んでこそ、お客さまに感動して頂けるサービスを提供できると信じております。」とはホームページに記載のある社長のコメント。

山形いきいき子育て応援企業に登録することは、同社にとって、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組みをより具体的に明文化することになり、社員みんなが意識を共有することに繋がった。

同社には定期的に発行される社内報がある。これは社員が自発的に作成を始めたもので、情報の共有手段としてはもちろん、

社員同士がなかなか顔を合わせられないという同社の事情もあり、有効なコミュニケーションツールとして社内でも好評を得ている。もちろん、山形いきいき子育て応援企業への登録についても、この社内報を通じて全社員へ周知された。

また、年2回の研修会では、まずワーク・ライフ・バランスの概念を社員に理解してもらい、社員間での認識のばらつきを解消に努めている。

数値目標を定め 女性の活躍を促進

女性の活躍も積極的に推進しており、部長、課長などの女性管理職の登用について数値目標を定める（目標：3人）とともに、総務部における女性の部長職の登用。そして、指定管理者として預かる施設における企画運営部門に女性を起用し、さまざまな企画事業に最初から参画させている。女性ならではの視点や感性を生かし、施設の有効活用を通じて地域の活性化を図っている。

育児休業については、まだ取得者はい

ないが、今後取得者が出た場合に、育児休業復帰後に不安なく復職できるように、休業中の社員との定期的な連絡はもちろん、月に1度は子どもを連れて会社に来てもらうなど、休業中の社員とのコミュニケーションを大切に、会社の状況を知ってもらう仕組み作りを検討している。

また、安全衛生、特に社員の健康管理やメンタルヘルスサポートを行うために衛生管理者として女性を登用し、担当する専門業務の遂行能力を拓げる研修機会を継続的に設けて実施している。

地域に根差した 積極的な取組み

地元の高校・中学から職場体験を積極的に受け入れ、働くことの意義について考える機会の提供に努めている。仕事というものに対して漠然とした不安を抱く生徒たちに対して、前向きな気持ちを持ってもらえるよう、子ども達の目線に立った丁寧な説明やレクチャーを心がけている。

(平成24年取材)



株式会社シグマ

住 所:米沢市中田町1404番地26
代表者:代表取締役 坂下 良行
業 種:ビルメンテナンス
従業員:93名(女性36名、男性57名)
<http://www.sigma-jpn.co.jp/>

企業紹介

「質の高いサービスで顧客満足度を達成し従業員の幸福と地域社会への貢献を実現する」が企業理念。キャッチフレーズに「私たちにお任せください！ あなたの暮らしの安全と安心を24時間サポートします」掲げて、ビルメンテナンスを通じ、地域の発展のため日々奔走する。